

橋町の見どころ

まちの歴史シリーズ ②⑩

橋町HP <https://tachibana-net.jp>

歴史・史跡 クリック

発行：橋町まちづくり推進協議会
ふるさと部会
発行日：令和6年2月1日
責任者：國平 安治
事務局：橋公民館 22-3884

今月号の案内者は

片白区長 もろおかたけひこ
諸岡武彦さん



クイズ ながしましやう
長島庄って何？

きしまちほう せいじ ちゆうしん 杵島地方の政治の中心

ながしましやうまんどころあと 長島庄政所跡 (片白)

●片白から六角川（潮見川）を渡って大日へ抜くとき、六角川に架かった橋を「中橋」というタイ。写真は何枚か紹介★①すっね。

●この橋の手前の場所★②が「長島庄政所跡」として佐賀県の遺跡地図★③に登録されと〜と。

●この遺跡は、平成14年から行われた中近世城館跡分布調査★④によって新たに登録された中世★⑤の城館跡★⑥バツェン、発掘調査はマ〜ダ行われとらんと。

●よ〜知らんとバツェン、ちょこっと知ったふいスツギ、飛鳥時代から奈良時代（今から1,300年以上前）は公地公民制度★⑦やたと習ったパイ。平安時代にな〜ギ、公地私占有地にして荘園★⑧が広がるッタイ。

●杵島地方でも「長島庄★⑨」と言う荘園ができたタイ。政所は政治を行った場所（役所）のことで、長島庄の政所が中橋のたもとにあったらしか。



★印番号の解説

赤丸が、中橋がかかっている所だよ。

★①中橋の写真

国道498から中橋へ向かう道



欄干に橋の名前が書いてあるよ



大日側から片白を望むと、赤枠のところ政所跡

★②中橋の場所

右図赤丸が中橋の場所。薄赤に塗ったのが政所あと。近くには庄の前遺跡や、郡衙があった可能性がある林副遺跡があるよ。



★③佐賀県の遺跡地図

遺跡が存在している可能性が高い場所を県に登録したものなんだ。



★⑦公地公民

645年に起こった乙巳の変以前（昔はこの「変」を含めて「大化の改新」と習ったよ）は、天皇や豪族らは各自で私的に土地と人民を所有・支配していたんだ。変の後「改新の詔」が出されて「全ての土地と人民は公（つまり天皇）に帰属する」となったんだ。下は蝦夷の首が飛ぶ有名な絵だよ。

★④中近世城館跡分布調査

佐賀県で中世と近世の城跡を調査してまとめたもの。杵島（武雄）は平成14年から調査し、報告書は平成25年度に出されたんだ。

★⑤中世

日本史では、古代のあとにつづく、近世以前の時期。鎌倉時代と室町時代をさすのが一般的。



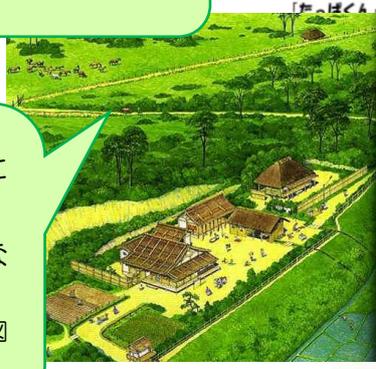
★⑧荘園

所有が公から私的に変った土地のこと



★⑥城館跡

現地は六角川の土手と田んぼしか見れないね。鎌倉初期だからこんなイメージかな。（神奈川県上浜田遺跡復元図 玉川大学玉川学園 HP より）



★⑨長嶋の庄

肥前国杵島郡武雄社文書により遅くとも仁安3年（1168）には既に成立していたと考えられているよ。（武雄市史より）

長島庄政所が中橋にあった根拠

1277年文書

途中省略

二七 地頭領家田地屋敷注文案

十町分屋敷事

一所下中橋御たまやしき 一所いわうしなかにやしき

一所古河めうれんやしき 一所しん六せんたうやしき

一所たかハしのこそり 一所ゆみやうしほしとこのそり

一所まんところ中橋つめ 一所ありたけや

一所しやかしのうちやしき 一所しん六のめうやしき

一所やはすのいたやしき 一所ゆみやうしほしとこのそり

しやうふんでんちの事

ゆみやうし三味田一反

途 中 省 略

「十町分ちとらりやうけてんちやしきちうも」

建治三年十二月廿日とりくし候、

合 ちとうふん

味重四、二反南二、おとわかこせんの御てつくり

「鎌倉遺文」一七二二

橋中村文書

今日の う・ん・ち・く

★長島庄政所が中橋にあったとする根拠

- ・右に根拠となる古文書を紹介します。
- ・服部先生の研究などで明らかにされたものです。（ちょっと小さいですが・・・）
- ・赤枠のところに「庄分の屋敷」とあり6か所の内一つは「中橋のつめ」にあると書かれています。（新幹線報告書などを参考）

今回ご紹介した遺跡は『平安時代』のものでした

注）下表の年代は諸説あり

時代区分	旧石器時代	縄文時代	弥生時代	古墳時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	南北朝・室町・安土桃山時代	江戸時代
年代	～前14000頃	前14000～前5C半	前5C半ば～3C	3C～7C	710～794	794～1185	1185～1333	1333～1603	1603～1868
主な市内遺跡 赤紫書は橘町	草場・おつぼ山第1水門・南檜崎遺跡。 若木町小路遺跡、中野の黒曜石、柏岳サヌカイト	市場・下貝原・釈迦寺遺跡等の遺物。市内200力以上。阿舍利・檜原遺跡（山内）	小橋-みやこ遺跡の環濠。潮見川流域・釈迦寺等遺跡、市内100力以上。東宮裾遺跡	町内遺跡の環濠、銅剣。玉江遺跡、玉島・潮見古墳、おつぼ山神籠石、東福寺 武雄平野を取り囲む山の周辺で300基以上	肥前風土記と歌垣山、井手橋・木副（墨書土器）ドウザマ墓地 立石と官道 小野原遺跡 武雄温泉 広福寺山像向野須恵器窯跡（北方）	長嶋庄成立 橋町条里制庄の前遺跡 おつぼ山経塚 長嶋庄が蓮華王院領 武雄神社、黒尾神社、各地の経塚、	潮見城跡と館跡、潮見川流域・馬場・立岩等の中世遺跡、潮見川開削と河童蓄水石、渋江・中村・中橋氏館跡 源頼朝御教書塚崎庄が長嶋庄から分離	北肥戦史等による北部九州動乱、渋江氏勢力拡大と日鼓城の悲劇、潮見讓落城と鉄砲・丹宗堀塚崎庄拡大、武雄・黒尾社、後藤が渋江攻略、肥前古窯跡と古武雄	三法方郷（橋は本藩・蓮池・後藤領） 鳴瀬郷と御狩場、長崎街道上野本郷・血山窯跡 南部系窯跡後藤鍋島藩の蘭書、大砲等 北方炭鉱